

都市再生整備計画 事後評価シート  
八幡中央地区（案）

令和3年3月

岐阜県郡上市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県		市町村名	郡上市		地区名	八幡中央地区			面積	105ha		
交付期間	平成27年度～平成31年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	1,591.7百万円	国費率	0.45				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設:ポケットパーク整備事業、防災設備整備事業 / 高質空間形成施設:道路修景整備事業、電線類無電柱化整備事業 / 高次都市施設:積翠荘跡地利用整備事業										
		提案事業	地域創造支援事業:由緒書整備事業、水のまちづくり推進事業、積翠荘跡地利用整備事業 / 事業活用調査:事業効果分析調査 / まちづくり活動推進事業:市街地交通対策事業、防災対策基本構想ワークショップ開催										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	—		削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	—										
	新たに追加した事業	基幹事業	高質空間形成施設:街路灯整備事業		電線類無電柱化整備事業の中に含めていたが、独立した事業とした。				当初計画に含まれていた内容のため、影響なし				
提案事業		—											
交付期間の変更	当初	—		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				—					
	変更	—											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	町並みの美しさに関する住民満足度	点	0.71	H26	0.90	H31		0.67	△	あり なし	● 事後評価実施時点で一部事業の効果を見込で算出したことなどから、従前値を下回る結果となった。	令和3年度
	指標2	災害に対して不安を持つ人の割合	%	37.7	H26	30.0	H31		25.3	○	あり なし	● 基幹事業、提案事業、関連事業を着実に実施したことで、目標値を上回る成果が見られた。	—
指標3	八幡中心市街地の人口の転入超過数	人	-18	H26	±0	H31		-39	×	あり なし	● 指標数値に直接影響を及ぼす事業がなかったことから、従前値を下回る結果となった。	令和3年度	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	まちなかに賑わい、活気がないと答えた人の割合	%	32.2	H26			28.9			● 道路空間の高質化は通り全体の雰囲気を良くし、空き店舗利活用支援なども相まって、町に賑わいや活気を与える一助となったことが想定される。	—	
	その他の数値指標2	—											
その他の数値指標3	—												
4)定性的な効果発現状況	・市街地交通対策事業において交通社会実験を実施したことで、市民の間で問題意識の醸成と規制誘導等の交通対策策への関心が高まり、良好な町並み景観を形成するための要素のひとつでもある交通環境の改善に向けた足掛かりとなった。												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	—				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					—		
	住民参加プロセス	防災ワークショップの開催				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● アフターコロナを見据えた住民参加の在り方を検討し実践していく。		
	持続的なまちづくり体制の構築	既存組織である郡上八幡市街地まちづくり協議会との協力				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 再始動へ向けて動き出した際には協力体制が構築できるよう進めていきたい。		

## 様式2-2 地区の概要

八幡中央地区(岐阜県郡上市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: 郡上八幡ならではの「本物」の歴史・文化を継承し、その魅力が人を惹きつける賑わいのあるまちづくり 目標1: 郡上八幡を特徴付ける歴史的町並み景観を保存・再生し、交流促進による地域活性化を図るとともに、住民が誇りと愛着を持って暮らせる住環境を整える。 目標2: 防災対策や安全な歩行者交通環境を整えることで、安心して住み続けられる住環境の向上を図る。 目標3: 郡上八幡ならではの歴史的な水利用資源や伝統工芸等の歴史文化を継承し、その「本物」としての魅力を発信することで、郡上八幡ファンづくりとUターン・Iターン等による定住化を促進する。	町並みの美しさに関する住民満足度 単位: 点	0.71 H26	0.90 H31	0.67 R2
	災害に対して不安を持つ人の割合 単位: %	37.7 H26	30.0 H31	25.3 R2
	八幡中心市街地の人口の転入超過数 単位: 人	-18 H26	±0 H31	-39 R2

**防災ワークショップ実施状況**

**由緒看板 整備後**

**交通社会実験の概要パンフ**

**水のまちづくり推進事業 (圧送ポンプ施設)**

**郡上八幡駅周辺整備後の全景**

**郡上市歴史資料館(企画展)**

**ポケットパーク整備**

**積翠荘跡地利用整備事業 「郡上八幡まちなみ交流館」(左)外観、(右)展示室**

**道路修景整備**

**伝建地区の無電柱化 (入線待ち、R3年度完成予定)**

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的建造物の保存及び修理・修景に対する支援</li> <li>・伝統的水利用施設の維持管理体制の弱体化と老朽施設への支援</li> <li>・(アフターコロナを見据えた)具体的な交通対策の導入検討</li> </ul>
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●効果を持続させるための方策</li> <li>・歴まち法に基づく歴史的風致形成建造物制度を活用し、歴史的建造物の保存に向けた取り組みに着手する。</li> <li>・街なみ環境整備事業を活用し、引き続き道路空間の美装化、高質化を推進する。</li> <li>●課題の改善策</li> <li>・市で管理する伝統的水利用施設に老朽化が見られた場合は積極的な修理修景整備を施し、民間所有施設については歴史的風致形成建造物制度の活用も検討し、必要な支援体制を構築する。</li> <li>・社会実験により住民の関心、気運は高まっており、実施可能な施策から徐々に推進していく。</li> </ul>